



屋外放飼場で伸び伸び過ごす  
アムールトラのメイ



# アムールトラの放飼場を 整備しています



北海道は9月中旬になり、やっと秋らしくなってきました。とても「北海道の短い夏」なんて言える状況じゃないですね。知床や天売島では、海鳥の繁殖が約1か月前倒しだったと聞きました。本州では1等米の比率が極端に下がるなど、農作物への影響が大きくなっているとのニュースを見ました。そういえば、旭川でも稲が倒れている田んぼが多く見られます。いよいよ気候変動が日常の中で見える化されてきて、自分事として捉えて行動しなければと考えさせられます。

旭山動物園では、冬に向かってもうじゅう館の外壁と旧ヒグマエリアの改修工事が始まります。もうじゅう館も気付けば築25年になりました。他の施設でも老朽化対策として、空調関係の設備など大掛かりな改修工事を続けていきます。

旧ヒグマエリアは、アムールトラを飼育できるように放飼場の床の一部を土にしたり、立体的に動ける岩棚を造るなどの改修をします。「なぜ、アムールトラ?」と思われるかもしれないですね。日本で飼育しているアムールトラは、将来にわたって近親交配にならないよう遺伝的な多様性を保ちながら、個体群として維持していかなければいけません。その観点から、キリルとザリアの遺伝子は必要十分な状況になつたため、繁殖は止めることになりそうです。避妊処置などを行っても、ザリアと娘のメイ、キリル3頭の同居はできません。現在は放飼場が1つなので入れ替えながら飼育していますが、今後はそれぞれが、のんびりと屋外で過ごせる環境にするため、第2放飼場として整備することにしました。

秋にかけてチンパンジーやブラッザグエノンの出産、クジャクの子「すなすけ」も順調に成長していきます。やっと屋外で気持ちよく過ごせる気候になりました。動物園に、ぜひ足を運んでください。

掛かりな改修工事を続けていきます。

旧ヒグマエリアは、アムールトラを飼育できるように放飼場の床の一部を土にしたり、立体的に動ける岩棚を造るなどの改修をします。「なぜ、アムールトラ?」と思われるかもしれないですね。日本で飼育しているアムールトラは、将来にわたって近親交配にならないよう遺伝的な多様性を保ちながら、個体群として維持していかなければいけません。その観点から、キリルとザリアの遺伝子は必要十分な状況になつたため、繁殖は止めることになりそうです。避妊処置などを行っても、ザリアと娘のメイ、キリル3頭の同居はできません。現在は放飼場が1つなので入れ替えながら飼育していますが、今後はそれぞれが、のんびりと屋外で過ごせる環境にするため、第2放飼場として整備することにしました。

ご応募  
ありがとうございました

## 旭山ピックアップ

### 旭山動物園 児童動物画コンクール 入選作品が決定

応募作品1,141点の中から、旭川市長賞をはじめ103点が入選しました。



詳細はこちら→



旭川市長賞(最高賞)  
小学校高学年の部  
よしこのは  
吉森小乃葉さん

## 旭山動物園をもっと楽しむ

### 園内イベント

詳細は決まり次第、同園HPに掲載



【詳細】旭山動物園  
(東旭川町倉沼 電話36・1104)

### 開園日時 変更の お知らせ

夏期開園  
.....  
冬期開園

- 10/15(日)まで= 9:30~17:15
- 10/16(月)~11/3(金)= 9:30~16:30 (期間中は無休。いずれも入園は16:00まで)
- 11/4(土)~10(金)は休園
- 11/11(土)~来年4/7(日)= 10:30~15:30 (入園は15:00まで。12/30(土)~1/1(月)は休園)

